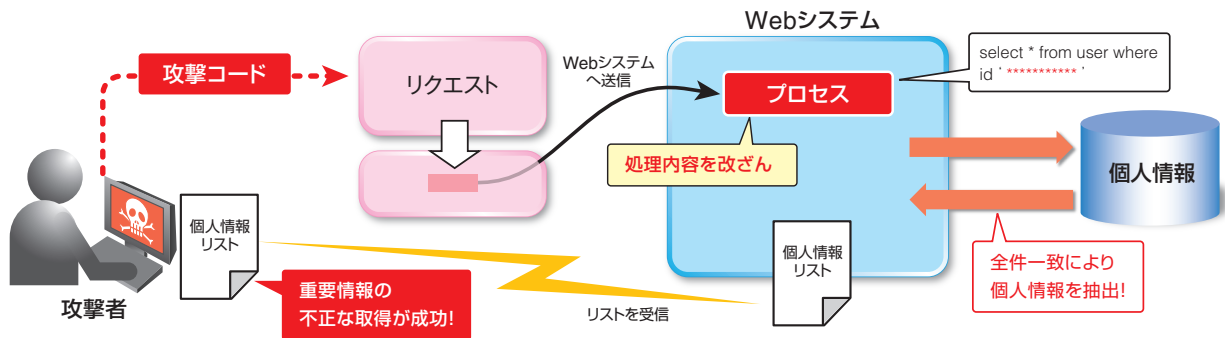


外部からの情報の不正取得や改竄を防止 Webシステムの脆弱性対策が低コストで可能

IM-SecureBlocker

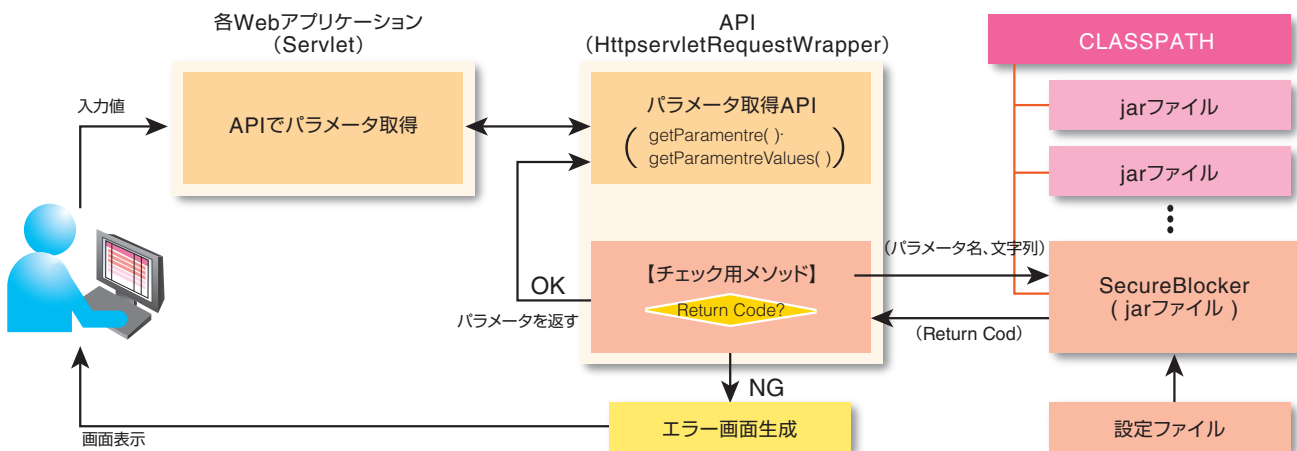
社外向け、社内向けを問わずシステムは常にさまざまな攻撃にさらされていますが、最近では攻撃ツールも発達し、Webの脆弱性を悪用してシステムの処理内容自体を改竄し、重要情報を不正に取得する手法が横行しています。重要情報の漏洩は、企業の信頼性を失墜させる大きなリスクとなりかねません。

IM-SecureBlockerは、このような攻撃からシステムを防御するために必要なチェック機能をクラスライブラリとして提供し、簡易にWebアプリケーションに組み込むことができる脆弱性対策ツールで、クロスサイトスクリプティング、OSコマンドインジェクション、ディレクトリトラバーサル、SQLインジェクションのチェックが可能です。



Webアプリケーション脆弱性対策外部からの不正な攻撃を遮断

Webアプリケーションに組み込むことのできる脆弱性対策ツールで、クロスサイトスクリプティング、OSコマンドインジェクション、ディレクトリトラバーサル、SQLインジェクションのチェックが可能です。



※ IM-SecureBlockerは、定期的に大手セキュリティベンダーの提供する「Webアプリケーション診断」を受診し、最新のハッキング行為を防御することを再確認しています。